



# 花のしおり

石川県立金沢伏見高等学校

図書だより

図書委員会

120号

平成30年3月22日発行

## 春、



生きとし生けるものすべてが  
生命力をほとばしらせる季節です。

大昔の暦の本にも

「春、万物は蠢き（うごめき）生ずる」とあります。

草木が萌え、鳥がさえずり、花が開く。

本の世界にも、春を感じる作品が多くあります。

春といえば…、本との思い出はありますか？

是非この春休みに読む本を、図書室で選んで借りて  
みましょう。

（『心ときめくことばの12か月』参照）

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

### 返却のお願い

図書室の本を借りたままに  
していませんか？



年度末ですので、本の所在を  
確認しています。

借りたままの本は、一度図書室で  
返却処理をしましょう。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



## 春休みの貸出について

春休みの間、図書室の本の貸出について、期限と冊数を変更します。

3月19日からの貸出期限は、4月10日（火）までになります。

貸出冊数は、1人5冊までです。（3/19日に借りた人は、4/10に変更してあります。）

2週間の休暇を利用して、興味を持った本を自由に選んで、じっくり読書してみてください。

読書には、新しい発見や楽しみ、感動があります。



### 読書

（『読書力』 齋藤孝著 より）

読書は、自己形成の王道です。

読書の幅が狭いと、一つのことを絶対視するようになる。

教養があるということは、幅広い読書をし、総合的な判断を

下すことができるということです。

読書をスポーツのように捉え、身体的な行為と考えるとなじむことが、読書上達になります。

一人の静かな時間の読書の中で、著者は深く語りかけてきます。優れた人の選び抜かれた言葉を、  
自分一人で味わう時間。この時間に育つものは計りしれない。

読書好きの人はこの時間の豊かさを知っています。

本を読むことで対話力はアップします。話の文脈をつかまえる力は読書で確実に養われます。

考える事は、言葉で行う行為です。読書によって言葉を多く知ることができます。

